



私と京都



～古きをいつくしみ、新しき京都を切り拓く～

京都市長・(公財)京都市景観・まちづくりセンター会長 **まつい こうじ** 松井 孝治 氏

京都市長の松井孝治です。

京都で生まれ育ち、東京で長く仕事をする中で感じたのは京都の圧倒的な魅力でした。

公益財団法人京都市景観・まちづくりセンターでは、これまでから専門家や市民団体、ボランティアの方々など様々な主体と連携し、京都らしい景観の保全や創造に御尽力。京町家まちづくりファンドや京町家カルテの創設など、京都のまちなみを象徴する歴史的建造物の保全と継承に大きな役割を果たしていただいています。国内外の人々を魅了する京都の景観は、貴財団をはじめ、多くの方々の弛まぬ努力によって支えられていることを改めて実感しているところです。高田光雄理事長をはじめ、すべての関係者の皆様に深く敬意と感謝の意を表します。

さて、本年元日に発生した能登半島地震から早や半年。私としても、市民の皆様「いのち」と「くらし」を守るためには、更なる防災・減災対策に迅速かつ着実に取り組まなければならないと再認識しました。

そんな思いの下、市長就任後初めてとなる2024年度予算の一つ目の柱には「いのちとくらしを守る防災・減災を強化」を掲げ、住宅の耐震化率を95%まで引き上げることを目標に「まちの匠事業」を大幅に拡充・再開。地域の職人さんと連携し、京町家や木造住宅の

耐震・防火改修の支援などに取り組んでいるところです。

また、全国的な人口減少や少子高齢化は本市も例外ではありません。とりわけ若者・子育て世帯の市外流出は深刻な課題です。京都の人口の約1割を占める学生さんの多くが、卒業後に京都以外に転居しており、残念でならないと感じています。

若者・子育て世代に選ばれるまち京都に向けて、既存住宅の流通促進、空き家の活用推進など、安価で良質な住宅の供給は極めて重要です。

現代的な住宅も便利で魅力的ですが、例えば、古い京町家を上手に住居やオフィスとしてリフォームし、地域が育んできた歴史や文化と共に、若い方々が個性を生かして住み続ける。持続可能な社会の実現が求められる今の時代だからこそ、京町家などの京都らしさと共生した、京都ならではの循環型の暮らしの価値がますます高まっていると考えています。そのためにも、貴財団がますます発展され、御活躍されますことを期待しています。

本市としても引き続き、都市計画の見直しに連動した企業立地や居住空間の創出などを推進し、多才な人々が集い、誰もがワクワクすることができる。そんな「突き抜ける世界都市京都」を実現してまいります。変わらぬ御支援と御協力をお願い申し上げます。

表紙イラスト作者
山口 珠瑛 (やまぐち たまえ)
アトリエ TAM 主催 URL <http://tam-y.com>

絵本作家、イラストレーター。京都生まれ。京都育ち。
京都教育大学 特修美術科西洋画卒業。「町家えほん」「福ねお豆のなるほど京暮らし」発売中。
京の暮らしがわかるYouTube動画をつくりました。「ふくまめ京暮らし」で検索してくださいね。

ニュースレター 京まち工房 107

公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

特集 P2 京隆学区の防災まちづくり

CONTENTS P3 京町家に関するイベント開催 P4 私と京都/表紙イラスト作者紹介

公益財団法人
京都市景観・まちづくりセンター

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上
梅津町83番地の1(河原町五条下る東側)ひと・まち交流館 京都 地下1階
TEL: 075-354-8701 FAX: 075-354-8704
E-mail: machi.info@hitomachi-kyoto.jp HP: <https://kyoto-machisen.jp>

QRコード: HP, Facebook

検索

令和6年度賛助会員募集中!

入会をご希望の方はまちセンにお問合せいただくか、ホームページをご覧ください

賛助団体の皆様			



※センターへお越しの場合は公共交通機関をご利用下さい。



公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンターは環境負荷低減に努めています。

ニュースレター

トピック



京まち工房

公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター

防災まちづくりと町家のイベント



足つけ神事は平安時代に罪・穢れを祓った貴族の風習に由来するんやて～

智積院 青葉まつり

毎年6月15日に弘法大師と興教大師のご誕生をお祝いする行事なんやで

京の六地藏めぐり

8月22日、23日に6つの寺院の地藏菩薩さんをめぐります～



六枚のお幡を集めて1年の無病息災を願いますえ～

下鴨神社

みたらしまつり

2024年は7月19日から28日まで



乾隆学区の防災まちづくり

「世代を超えて地域がつながり 安心・安全にずっと暮らせる 乾隆のまち」

乾隆学区は上京区の北西部に位置しています。西陣織を生業とした町衆を中心に形成され、住民同士の助け合い精神や地域自治の取組が大切に受け継がれています。

現在も、乾隆小学校を中心にさまざまな地域行事や活動が行われ、学区内26の町内会では、乾隆学区の合言葉「だいすき乾隆」のもとに、今宮祭、乾隆まつり、餅つき大会、地藏盆などの行事に取り組んでいます。このように住民が集まる機会も多く、コミュニケーションの輪が広がり、地域みんなの顔が見えることで、安心・安全につながっています。



上京区のキャラクター「かみぎゅうくん」

防災まちあるき

令和3年度から4年度にかけて、まちの防災に関する現状と課題を確認するため、学区のみなさんで「防災まちあるき」を実施し、意見交換を行いました。全部で4回のまちあるきで、延べ60名の方にご参加いただきました。

地域の集会所を再確認するとともに、背丈よりも高いブロック塀や老朽建物の存在も確認することができました。



防災まちあるきによる路地の安全確認



まちあるき後の意見交換

防災まちづくりアンケート調査

令和4年度には、防災まちづくりについて町内会アンケートを実施しました。防災に関する問題意識を確認し、まちの防災上の課題をより深く掘り下げることができました。

防災に関して今後どんな取組をして行きたいかという問いに対して、安否確認や避難誘導などの仕組みをつくることや、近所づきあいを深めるための交流の場を増やすことなどの意見が出ました。

イベントでの周知活動

地域のお祭りとして開催される乾隆まつりでは、防災まちづくりに関するパネルの展示や、クイズ形式のゲームを企画・実施することで、子どもたちが楽しみながら防災について学ぶことができるような取組を行い、理解を深めました。



乾隆まつりの防災まちづくりコーナー

総合防災訓練

毎年11月に総合防災訓練を開催しています。コロナ禍においても規模を縮小して実施してきました。消火訓練や救護訓練のほか、最近では新たな取組として、マンホールトイレの設置訓練や防災まちづくりに関するクイズも実施しています。



消火訓練(バケツリレー)



マンホールトイレ設置訓練

防災まちづくりの進め方

防災まちづくり計画に基づいた取組を軸に、年度毎に自主防災会総会などを通じて、町内会や家庭・個人に広くお知らせし、取組への参加を促進します。

乾隆まつりや総合防災訓練など、定期的な学区全体の行事も併せて進めることにより、防災まちづくりの継続的な取組の推進に努めます。

会長から一言 乾隆学区自主防災会 渡邊 豊 会長

乾隆学区では、地域が主体となって災害に強いまちをつくる「防災まちづくり」に取り組んでいます。このたび、これまでの取組や検討内容を踏まえ、「災害が起こった後の対応への備え」だけでなく、「災害が起こる前の対策や整備」を実現するための行動指針として、『防災まちづくり計画』を作成しました。この計画のもとに、防災まちづくりの取組を積み重ね、安心安全にずっと暮らせる乾隆のまちを実現していきます。



令和3年の春、コロナ禍の影響が続く中で計画策定の取組が始まりました。

乾隆学区では、普段からの地域のつながりを大切に、学区全体で防災への意識を高めながら計画づくりを支援してきました。

令和6年元日に能登半島地震が発生し、防災への関心はますます高くなっています。自分たちのまちを守り、そして未来につなげて行こうという思いを実現するために、まちセンも協力していきます。

令和6年早春

京町家に関するイベントを開催しました

「町家の日2024」参加

京町家まちづくりファンド チャリティーイベント

寄附者ご招待

京町家まちづくりファンド改修助成事業で支援した「満き」と「蘇谷」にて、所有者のお話や建物見学、文化体験とファンドカフェを開催し、京町家の魅力に触れていただく機会となりました。本イベントの参加費は、京町家まちづくりファンドで活用させていただきます。

竹屋町編 開催日：令和6年2月25日(日)
開催場所：満き(山野邸)

元料亭の数寄屋造りの京町家「満き」にて、講師の若林美里さん(鍼灸師)から「お灸と四季について」のお話を伺い、お灸体験をしていただきました。終始和やかな雰囲気でお灸やツボについて気軽に質問されていました。また、オーナーの山野暢子さんからは、建物の歴史やファンド応募の経緯などを伺い、通常、宿泊者以外は入れない離れの宿についても見学させていただきました。



五条坂編 開催日：令和6年3月14日(木)
開催場所：蘇谷(八田邸)

京焼の作家であった八田蘇谷氏の元住まい兼工房の京町家「蘇谷」にて、講師の河崎尚志さん(陶点晴かわさき 店主)から「五条坂と京焼について」のお話を伺いました。河崎さんのお話を楽しみに参加された方が多く、熱心に聴講されていました。また、所有者の八田宗子さんからは、改修の楽しさや窯業が盛んだった頃の地域のお話を伺い、建物を見学させていただきました。



京町家再生セミナー「京町家で匂い香づくり」

3月3日(日)には、京町家「満き」にて京町家再生セミナー「京町家で匂い香づくり」を開催しました。香老舗 松榮堂の担当者のご指導により、ひな祭りにふさわしく華やかにしつらえられた座敷にて、現代生活に寄り添う「香り」の文化を体験していただきました。



京町家・空き家なんでも相談会

3月1日(金)、2日(土)には、京都市景観・まちづくりセンターにて、令和5年度2回目となる「京町家・空き家なんでも相談会」を開催いたしました。空き家になった、あるいは老朽化した京町家の活用・改修についてや、京町家を次世代に継承するための方策についてなど様々な相談が寄せられました。

主催：京町家等継承ネット、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター
後援：京都市
開催日時：令和6年3月1日(金)、2日(土)
相談件数：専門相談23件、一般相談25件
相談員一覧(順不同、敬称略)
青山幸司、井上信行、岩佐英治、大前温彦、岡本慎太郎、岡本秀巳、西村孝平、山下善彦、吉田光一、荒木智、辻勇治、望月幸夫、内田康博、齋藤義憲、志村公夫、末川協、富家裕久、伏木道雄、米沢和也、宮田真悟、中出威一郎、内藤卓

「未来と町家をマッチするトークセッション」の動画公開中!

京町家等継承ネットではポータルサイトのMATCH YAIにて、「未来と町家をマッチするトークセッション2024」の動画を公開しました。

本動画では、京町家を拠点に、学生と企業、子ども、クリエイターが集う居場所を提供されている起業家の多様な活動をご紹介します。

過年度に制作した動画も掲載していますので、併せてご覧ください。



トークセッション2024の概要

- テーマ：クリエイティブ拠点をつくる
- 収録場所：かもがわクリエイティブベース(通称「かもベース」)
- 登壇者：阿久津 泰紀氏(株式会社ブイ・クルーズ代表取締役)
宿野 秀晴氏(Medico-tec 株式会社代表取締役)
西山 涼二氏(かもベース主宰者)
(司会) 乾 明紀氏(京都橋大学経済学部教授)



こちらから御覧ください